

3 - 11 筑波地震観測所における地震回数の変化 (3)

Change in Number of Earthquakes Observed at Tsukuba Seismological Observatory (3)

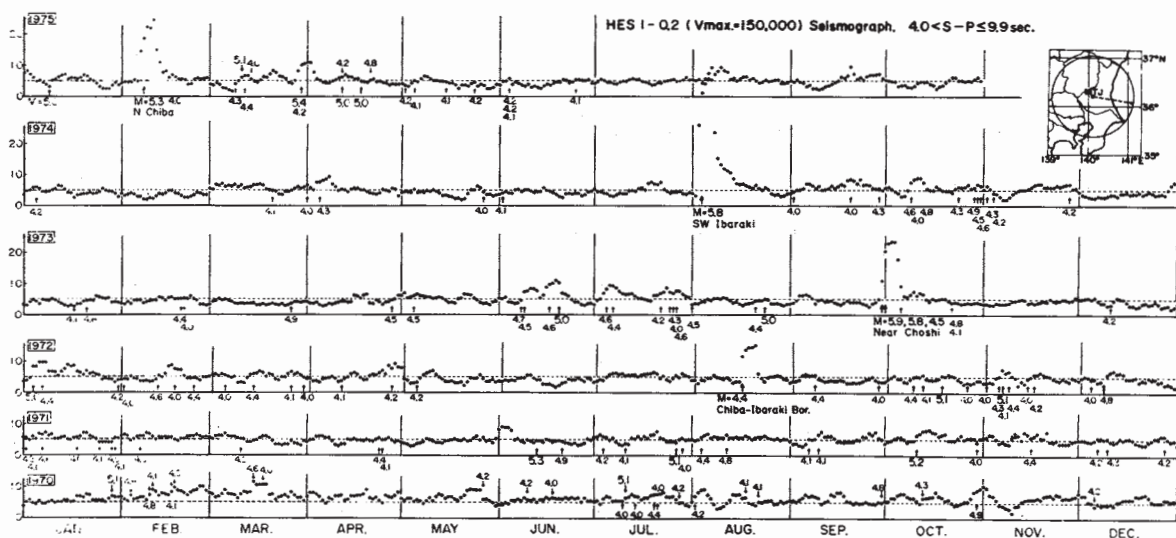
東大地震研究所 岩田孝行
Takayuki Iwata,
Earthquake Research Institute,
University of Tokyo

今回は本会報 Vol.14 (1975) に報告した筑波 (MTJ) における $4.0 < S - P \leq 19.9\text{sec}$ の微小地震回数変化の資料から、 $4.0 < S - P \leq 9.9\text{sec}$ のみに地震をとり出し移動平均を求め、筑波から半径 90 km 以内における微小地震の活動状況を調べた (第1図)。なお、期間中にこの地域内に発生した $M > 5$ の地震について余震活動の期間を調査した結果、3~5日程度であったため、一応5日の移動平均を採用した。

図中の矢印とその数値は、期間中に発生した $M > 4$ の地震と M を示し (資料は JMA 地震観測月報による。但し、1975年6月以降未刊)、横点線は全期間における単純平均値 5.4 回/日を示す。図から、1970年以降現在までについて、関東地方の中部地域における微小地震の活動は定常的であり、現在では特に異常と思われる変化は見出せない。

参 考 文 献

1) 岩田孝行他, 筑波地震観測所における地震回数の変化 (2), 連絡会報, 14, 1975



第1図 筑波観測所における日別地震回数の移動平均

Fig. 1 Five days running mean of daily number of earthquakes observed at Tsukuba Station.